

A-156 ECテスト陽性大腸菌群の発育温度特性とブドウ糖中間代謝産物について
郡山女大家政 ○角野猛 佐久間久仁子
明和女短大 小暮ハ穂子

目的 ECテストは生食用の貝類ならびに養殖海域の海水の *E. Coli* の検出に用いられるが、*E. Coli* I型以外の菌型においてもECテスト陽性の大腸菌群が検出される。著者らは先に、大腸菌群各型ならびに Irregular タイプのブドウ糖中間代謝産物を比較したが、今回、ECテスト陽性の *C. freundii* 型および *K. aerogenes* 型の発育温度特性とブドウ糖中間代謝産物を検討してECテスト陰性の大腸菌群各菌型と比較したので報告する。

方法 供試菌株は、食肉より分離したECテスト陽性の *C. freundii* II型、*K. aerogenes* I型および *E. Coli* I型、また同陰性の *C. freundii* II型、*K. aerogenes* I型の計10株である。発育温度特性は温度勾配バイオフィットレコーダーにより、ブドウ糖中間代謝産物の測定はカルボン酸分析計により、その培養液を分析して行なった。

結果 (1) 至適発育温度は40~37℃に認められた。(2) ブドウ糖中間代謝産物は、乳酸・酢酸・ピルビン酸・ギ酸・コハク酸であり、各菌型とも共通性が認められた。(3) *C. freundii* II型は乳酸が最も多く、次いで酢酸・ギ酸の順であって、ECテスト陰性の *C. freundii* II型とはギ酸量の多い点で異なった。*K. aerogenes* I型は44.5℃培養では乳酸・酢酸が多かったが37℃以下では乳酸・ギ酸量が多いものであった。(4) ECテスト陽性 *C. freundii* は各有機酸生成量からみると、*E. Coli* 型と *K. aerogenes* の中間タイプを、*K. aerogenes* は44.5℃培養で *E. Coli* 型と同様であるが、37℃以下の培養ではいわゆる *K. aerogenes* のタイプを示した。